


2017 **8月** 美和営農経済センターだより

JA静岡市

電話 296-2121 ファクシミリ 296-2125
電子メール miwaeino@shizuoka.ja-shizuoka.or.jp




センター長	森内	お茶	野崎	水稻・苺・野菜	小澤	購買	酒井
女性部	市川	お茶	平野	水稻・苺・野菜	片井	購買	秋山

お知らせ **まだまだ暑い日が続きます!!熱中症にご注意ください!!**


暑い季節を乗り切ろう!
静岡茶&みかん果汁飲料

地元静岡産の原料を使用した安心なドリンクです。
農作業のお供に、毎日の健康維持向上にオススメです!




農協飲料に新商品が登場!
チャレンジ (280g×24本) 2,981円(税込)

茶葉は「一番茶」のみを使用し、果汁飲料でありながらさわやかな後味すっきりの新感覚の飲料です!
お茶とオレンジ、Let's チャレンジ!



有機質配合肥料 彩輝 (さいき) 数量限定 販売!!

NPK:6-6-6の万能配合ペレット。ペレット状だから施用がラクラク♪
数量限定特別価格で購買店舗にて販売中! 1,680円(税込)/20kg・袋



NEW! **本山トップ1茶配 新登場!** (価格・成分は9月号にてお知らせ致します)

この度、新硫安コートS茶配が廃番になり、代替品として本山トップ1茶配を作りました。春肥～母枝肥まで効くロングタイプの配合肥料です。

茶園集積推進事業の申込みについて【補助対象】

事業主体 … 農地を借受けられる茶工場・個人の認定農業者
対象農地 … 新規に農地中間管理事業で借受けた筆
※他事業から乗せ換えの場合は、新規借受け案件が無いと対象になりません。
事業メニュー … 下記のメニューを同一年度に合計100ポイント以上実施する。

茶樹の改良方法	取組メニュー(一部抜粋)	ポイント
連垣のための高さ調整	中切り・台切り	93
	深刈り	37
樹勢回復	土壌改良(堆肥散布)	53
	深耕	51
	初期除草	18

※ 上記以外にも乗用摘採機関係のメニューがあります。

助成額 … 50,000円/10a【1a未満を切り捨て】
※ 平成29年度は申請が終了している為、これから平成30年度の要望の取りまとめます。
事業着手できるのは、平成30年4月以降となりますので、ご了承ください。
詳細は美和営農経済センター 野崎・平野(296-2121)へお問い合わせください。

茶

【防 除】 共同茶工場に出荷している方は、工場の農薬基準を守りましょう

- ☆ 8月下旬よりホコリダニ、ハマキムシ類等の発生が予想されます。
- ☆ 8月下旬は天候不順により炭そ病、もち病、褐色円星病等の発生が予想されます。

[3 茶芽生育期]

炭そ病、もち病、褐色円星病 発生園

インダーフロアブル[5,000倍・7日]等を散布。8月以降、降雨が続き、病気が見られます。

ハマキムシ類 発生園

防除時期を逃した場合(幼虫体長2cm以上)には**アフーム乳剤**[2,000倍・7日]を散布。

ホコリダニ 発生園

症状は葉裏の褐変・葉表が波打つ(盆過ぎから発生するので注意)

ハチハチ乳剤Ⓜ[1,000倍・14日]を散布。

※ ハチハチ乳剤Ⓜは、ウンカ・スリップス・ホソガにも効果有。

カンザワハダニ 発生園

昨年同様、乾燥の影響で発生が見られます。

アグリメックⓂ[1,000倍・7日]又は**ミルベノック乳剤**[1,000倍・7日]等を散布。

※ アグリメックⓂ、ミルベノック乳剤はホコリダニ、サビダニにも登録があります。

クワシロカイガラムシ発生園

防除時期:9月中下旬, 散布量:1,000ℓ/10a

アプロードエースフロアブル[1,000倍・21日]又は**スプラサイド乳剤**Ⓜ[1,500倍・14日]

※ 防除適期を逃した場合… **スプラサイド乳剤**Ⓜ + **マシン油(97%)**[100倍] 混用

[秋芽開葉期]

ドイツホルダーA	500倍	炭そ病、もち病、網もち病	混用
スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	ウンカ、スリップス、ホソガ、カメムシ	14日

☆秋冬番茶を収穫する場合、安全使用日数等、工場の指示に従って下さい!!☆

【秋 肥】

夏から秋にかけて、茶樹は養分を盛んに吸収して、根や幹を生育・肥大させます。また、この時期の茶樹の生育や養分の蓄積は、翌年の新芽の生育や収量・品質に影響しますので適期に適量施肥することが大切です。施用後は土と混ぜて下さい。

- ・1回目 8月下旬 配合 5袋/10a ※1回目と2回目の施肥は、施用効果を上げるため、10日程度あけて下さい。
- ・2回目 9月中旬 配合 5袋/10a

【深 耕】 ☆ 実施する場合には、十分な降雨後に行ってください。

- ① 30cm前後深く耕すことで、土壌の通気性・透水性を高め、根の生育が良くなります。
- ② 土壌改良剤や、うね間に堆積した刈落としの枝等の有機物を土壌にすき込み、酸性矯正と土壌の肥沃化を図ります。
- ③ 時期⇒9月上旬まで(根の生育が盛んになる少し前のため、深耕後の根が再生しやすいため)
- ④ 更新を行った園では浅く耕すか深耕を行わないようお願いします。

水稻

- 水管理
 - 穂ばらみ期～出穂期は水を最も必要とする時期なのでたん水状態にする
 - 出穂後は数日おきに間断かん水とし、落水は出穂後 30 日頃とする



- 病害虫防除

薬剤の散布は開花中の午前 8 時～午後 2 時を避けるようにする

穂いもち・穂枯れ	ブラシン(フ)	1,000 倍	収穫 7 日前	2 回
ウンカ・カメムシ	キラップジョーカー (フ)	1,000 倍	収穫 14 日前	2 回

- 収穫時期
 - 一穂中の 90% の籾が黄金色になった頃 (早生品種では出穂後 35～40 日頃が目安)
 - 8 月は曇天や雨天が多く、病気が発生しやすくなっているため定期防除に努めてください。

カメムシに注意!

カメムシは口針を作物に刺して吸汁するので「しいな粒」や「斑点米」被害が発生します。

防除のポイント

- ① 畔の除草は出穂 14 日前までに行なう
- ② カメムシは日中あまり活動しないため防除は早朝か夕方に行なう
- ③ 薬剤の散布適期は出穂 7～10 日後頃。発生が多い場合には前回散布の 1 週間後に下記の薬剤で 2 回目の防除をすると効果的



スタークル (顆水)	2,000 倍	収穫 7 日前	3 回
------------	---------	---------	-----

平成 29 年 水稻農作業標準料金表 (税込)

作業名	単位	料金	備考
刈取	コンバイン	53,460 円	刈取・乾燥・籾摺 (玄米運搬は含まない)
	バインダー	16,200 円	
脱穀	10a	14,256 円	
乾燥	コンバイン	26,676 円	コンバインによる刈取籾
	仕上げ乾燥	5,400 円	玄米水分は 18% 未満とし、それ以上は割増とする
籾摺	60kg	1,188 円	乾燥良く収穫した籾
玄米運搬	10a	2,160 円	

野菜 (秋冬アブラナ科野菜)

生育初期のコナガ・ヨトウは定植時の粒剤施用で被害を防ぎましょう

薬剤名	キャベツ	ハクサイ	ダイコン	ブロッコリー
オルトラン (粒)	1～2g/株	1～2g/株	3～4kg/10a	2g/株
プリロソ (粒)	1～2g/株	1～2g/株	6kg/10a	1～2g/株
プレバソン 5 (フ)	100 倍 (灌注) 2,000 倍	100 倍 (灌注) 2,000 倍	2,000 倍	100 倍 (灌注) 2,000 倍

※プレバソンの灌注はセルトレイまたはペーパーポットのみです。ポリポットへは使用できません。

いちご

天候不順の日が続いています。病害虫防除を徹底して下さい。

1. 育苗管理 (切離後の管理)

- (1) 育苗時の肥切れは芯止まり、1.5 番の発生＝収量減少につながります。液肥等を施用し管理しましょう。一度肥切れすると液肥を数回散布しても回復に時間が掛ります。
くみあい液肥 2 号 1,000 倍～800 倍 (窒素レベルにあわせて加減する。)
- (2) 定植 7～10 日前に弁当肥として液肥を施用する。

参考：くみあい液肥 2 号 (10-5-8) 17%アンモニア態N ※水道水 EC 0.16 の場合

倍率	200ml の窒素量	EC※
800 倍	30mg	0.69
1,000 倍	24mg	0.53

- (3) 苗質をそろえる (老化を防ぐ) ため葉かきを行う。特に太郎苗の葉かきは強めに行う。
- (4) 葉かき作業などは晴天日に行い、その後、必ず炭そ病の予防薬剤を散布する。
- (5) 本圃にハダニ・ウドンコ病を持ち込まないように定植前に複数回農薬を散布する。
- (6) 炭そ病薬剤ローテーション例 (先月の続き) 切り離し後、使用回数リセットです。

	炭そ病 薬剤名	倍率	回数	備考	混用薬剤 例	
9月1週	デラン (フ) ㊟	1,000 倍	2	定植後は使用不可 耐雨性	ピラニカ㊟	
9月2週	ファンタジスタ	2,000 倍	3	治療効果	サンマイル㊟	
9月3週	ベルコート (水)	育苗	1,000 倍	5	定植後は 4,000 倍	コテツ㊟
		本圃	4,000 倍			
9月4週	ゲッター (水)	1,000 倍	3	治療効果 (トップジンMの成分)	アフアーム	

(7) スリップス・アブラムシ・ウドンコ病

ハチハチフロアブル㊟	1,000 倍	2	前日まで (ハチ影響 6 日)
------------	---------	---	-----------------

【要注意! いちごの農薬について】 ※以下の農薬は 8 月中旬以降、使用に注意して下さい。

収穫前日数が長いもの

ベンレート水和剤 (90 日前)・ジマンダイセン水和剤 (76 日前) トクチオン (75 日前)

本圃で天敵の影響日数が長いもの

成分によっては 3 ヶ月程度影響します。

モベントフロアブル (使用後 45 日以上空けてから天敵を放飼して下さい。)

合成ピレスロイド剤 (アーデント・アグロスリン・アディオン・マブリック・ロディー)

有機リン剤 (カルホス・スミチオン・マラソン・トクチオン) カバメト剤 (ランネート・ラービン)

2. 本圃

- (1) 検鏡を必ず行い、適期に定植する。(9/13 サンプリング・9/14 検鏡予定)

※検鏡は 9 月以降、美和営農経済センターにて受け付けています。

5 株程度お持ち下さい。

- (2) 地温が高いと初期の活着が悪くなります。定植前から地温 25℃ 以下 (適温 20℃ 前後) になる様に管理して下さい

- (3) 定植時展開葉 3～4 枚とし、晴天日に定植する。葉かきしながらの定植はしない!

アブラムシ	アドマイヤー 1 (粒)	0.5g/株	定植時	1 回	ミツバチ 30 日 カブリダニ影響なし
コガネムシ類	ダイアジノン粒剤 5	4～6kg/ 10a	植付時 土壌混和	1 回	ミツバチ 18 日 カブリダニ影響あり
	ダイアジノン SL ギル	25 倍	定植前 土壌混和		ミツバチ 45 日 カブリダニ 14 日

※『オンコル・ガゼット』は登録削除により使用禁止!!

- (4) 定植後、少なくとも 1 週間は『手かん水』を徹底して行い初生根の発生を促す。

